

活動実施報告書（令和6年度）

名称：パプリカ保育園

4 月：エコってなんだろう？～プロジェクターから学ぶ～

取組内容

エコとは？

日々の園生活を過ごす中で、子ども達と何かできることはないか、どんな活動に取り組むことができるかを一緒に考えながらプロジェクターを通して学びました。

取組結果・感想等

キャラクターたちが歌を歌いながら登場する動画を、プロジェクターで見ながら、楽しくなって揺れながら見る園児や、くぎ付けになって集中して見る園児など、楽しく「エコ」について学ぶことができました。

今年度一年間、身近にある物でどんなエコ活動に取り組むことができるかを一緒に考えながら日々の活動に取り入れていきたいと思いました。

活動の様子（写真等）



5 月：ゴミ拾いごっこ（分別を学ぼう！）

取組内容

普段生活をする中で、自然と出てくるお菓子やおもちゃの空き箱を使って、お店屋さんごっこなどを楽しんだあと、形が崩れて使えなくなってしまった廃材を集め、ゴミ拾いごっこをしました。

子どもたちが楽しみながらゴミ拾いをするように、お片付けを促す音楽を流してみました♪

取組結果・感想等

空き箱のパッケージを見ながら、お菓子やアイスの箱を分別しながらゴミ袋へ集める子ども、細々に破れた箱の破片を集めて捨てる子ども、プチプチの素材をゴミ袋代わりにして淡々とゴミを集める子どもなど、色々な姿がありました。

また、お片付けを促す音楽を流すと、「Clean up！ clean up！」と笑顔で口ずさみながらスムーズにゴミ拾いごっこを楽しむことが出来ました。

活動の様子（写真等）



6月：火山灰アート（自然物を使って）

取組内容

- ・ 鹿児島のシンボル桜島は観光地として知られていますが、火山灰は定期的に集めゴミとして処分されています。厄介なものとして扱われる火山灰をパプリカ保育園では「灰アート」としてみんなで作品を作りました。今年は「桜島と海を泳ぐイルカ」を描いてみました♪

取組結果・感想等

0・1・2歳児の園児達ほとんどが、火山灰独特の感触を嫌がることなく手に取り、思いおもいに灰をかけたり撒いたりして全員で楽しくアート作品に取り組むことができました。

普段、処分される火山灰で子ども達が作り上げた火山灰アート、素晴らしいエコに繋がったと思いました。

活動の様子（写真等）



7月：新聞紙・段ボール遊び

取組内容

新聞紙を用意し、ビリビリ細くみんなでちぎって、楽しんだ後、子どもたちが好きなプールを使用して「新聞紙プール」をしました。

取組結果・感想等

0, 1歳児は保育者と一緒に新聞紙を破り、指先の細かい作業に繋がった。
2歳児は新聞紙をちぎりながら「へびさんみたい〜！」など、お友達同士で会話をしながらちぎることを楽しんでいた様子。

また、新聞紙プールでは、さらに細かく破って雨のように降らせてみたり、頭に被ってみたりなど、楽しむ姿がみられた。

活動の様子（写真等）



8月：氷遊び(エアコン節電)

取組内容

暑い日が続く中、涼しく快適に過ごせるように子どもたちが好きな氷を使って、エアコンの節電に挑戦！

遊びに飽きることがないように、氷の中にカラフルな玩具をいれるなど、工夫をしました。

取組結果・感想等

氷を触ると、「冷た〜い」と笑顔になる子どもたち。氷を握って溶かしてみたり、頬に当てて冷たさを感じてみたりなど、楽しく快適に過ごせた様子。

また、氷の中にシリコンの玩具を入れて凍らせてみると、こどもたちは必死に氷を溶かしながら中に入っている玩具を取り出そうと飽きずに楽しく快適に過ごすことが出来ました♪

活動の様子（写真等）



9 月：牛乳パックをニシムタに持っていこう！

取組内容

普段、牛乳を飲みきると捨ててしま
いますが、パプリカではおやつの時
間に飲んでいる牛乳の空のパック
を散歩をしながら、リサイクルで近く
のニシムタに持っていきました♪

取組結果・感想等

お友だちみんなで一緒に行くスーパーに、
少し戸惑う園児も見られたが、牛乳パック
をリサイクルすることができた。

散歩でみんなで行けたことがよほど楽し
かったのか、降園する際保護者の方に「牛
乳パックまた持っていきたい！」と楽しそう
な笑顔で話す姿が見られた。

活動の様子（写真等）



10 月：節水～手洗いのエコ～

取組内容

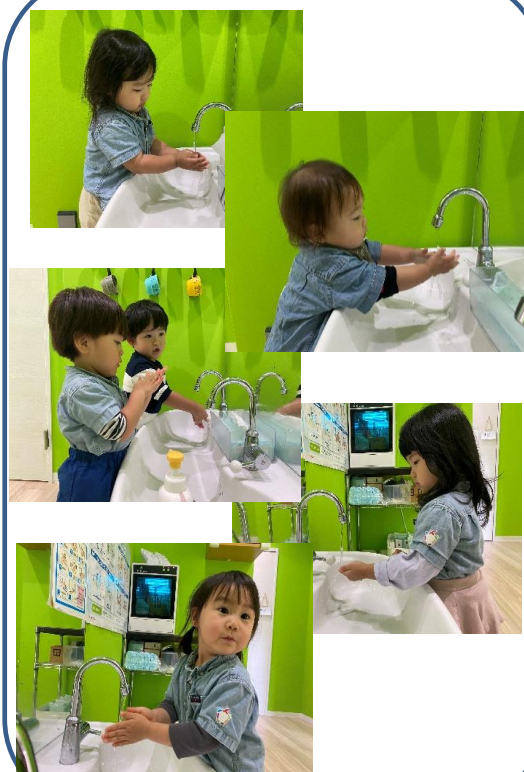
感染症対策もあり、年齢問わず、手を洗う
ことは日々の生活リズムに取り入れています
が、
「節水」に関しては、意識しなければならない
ので、保育者が声かけをする中で「お水を止
めようね」「エコ」「節水」という言葉などを使っ
て園児にも分かりやすいように伝えていきま
した。

取組結果・感想等

ハンドソープを付ける前に1度水を止めるこ
とを常に伝えた。お水の量をチョロチョロ少
づつ出すことも教え、無駄にしないことを感じ
取ってもらえたらいいなと思った。

中々理解することが難しい年齢かもしれない
が、日々くり返して声かけを行っていき、日常
生活を送る中で少しでも身に付けていくこと
ができたらいいなと思う。

活動の様子（写真等）



1 1 月：落ち葉やどんぐりなど自然物で遊ぼう！

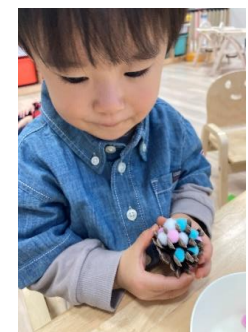
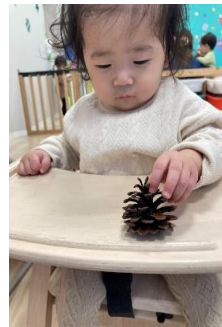
取組内容

戸外で遊ぶ際に、よく落ち葉や木の実、松ぼっくりなどを集める姿があるので、その松ぼっくりを使ってクリスマスに向け、クリスマスツリーをデコレーションして作ってみました。

取組結果・感想等

木の実や松ぼっくりが大好きな子どもたち。見本を見て自分の好きな色のスポンジを選んで、デコレーションを選んで楽しそうに作る様子が見られた。
この活動を通して、ものを大切にしようとする心を育むことができたと思う。

活動の様子（写真等）



1 2 月：もちつきごっこ

取組内容

「餅」を実際についたり、食べたり出来る年齢ではないので、今回餅つき体験をシュレッターの紙を餅に見立てて体験を実施。臼と杵も段ボールを利用したものの。

取組結果・感想等

袋に入れたシュレッターの紙が杵で搗くたびに、膨れたりしぼんだりする。
2歳児の子どもは、「よいしょ、よいしょ！」と言いながら、リズムよく楽しそうな表情で餅つき体験を楽しんでいた様子。

0. 1歳児は、杵を持つことに夢中で、獅子舞の被り物も嬉しそうだった。
餅つき体験をすることが、今後の記憶として定着することを願う。

活動の様子（写真等）



1 月：ペットボトル ラベル剥がし

取組内容

ペットボトル活動は数回行っている活動の為、子ども達も理解している様子が毎回みられる。

SDGs活動の一環でもあり、この活動が園外(家庭)でもみられるように取り組みを続けていく事が大事なことだと思う。

取組結果・感想等

2歳児は指先も上手に使えるようになってきた。スピードもあがり、まるで競争をするように取り組んでいた。

1歳児はラベルはがしのスタート部分を保育者が援助するとビリッと最後まで剥がすことができる。分別までの理解はまだ出来ていない為、その都度教えていきたい。

0歳児は保育者が近くでやってみせると真似をしようとするそぶりをみせた。ペットボトルを投げてしまったり、転がす事が楽しい瞬間もある為、見守りながら興味に繋げていく事を目標にしていきたい。

活動の様子(写真等)



2 月：残食ゼロの日

取組内容

いつもとは違う、バイキング形式での給食。感染症が流行っており、自分たちでバイキング給食を選ぶことは出来なかったが、お弁当用カップに入ったおかずを見て嬉しそうな子どもたち。ニコニコ嬉しそうに頬張る姿があった。

取組結果・感想等

お友だち同士でルンルン楽しく会話をしながら美味しそうに食べており、「美味しい！」と全員が完食することができた。

普段からモリモリ食べる園児がほとんどだが、少食の園児もこの日は完食しており、いつものと給食の提供方法を少し変えるだけで、こんなに変わるんだなと保育者自身も実感することができた。

活動の様子(写真等)

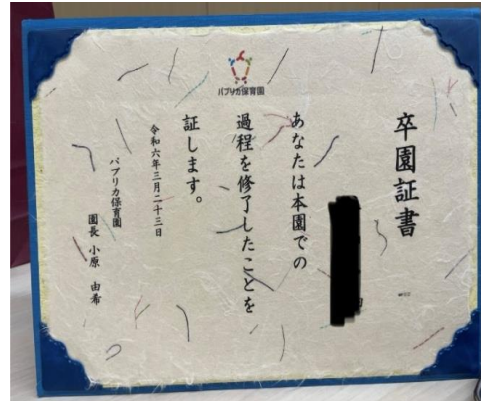


3 月：大島紬のはぎれを使った卒園証書

取組内容

以前、製作活動で使用した大島紬のはぎれが園に多く余っていたので、『薩摩和紙製作所』の方々と協力し、薩摩和紙と大島紬を使用した卒園証書を作ってみた。

活動の様子（写真等）



取組結果・感想等

卒園式当日、保護者の方々からは、「卒園証書の中に入っているのは何ですか？」と質問があり、大島紬と答えると、「綺麗ですね！可愛い！」と喜ばれた様子が見られた。

余っていた大島紬のはぎれを、どのように使うか迷っていたが、卒園児さん最後の思い出に使うことができ、保護者の方々にも喜んでもらえることもできたのですごく嬉しかった。

1年間取り組んだ感想・ご意見

エコ活動4年目では、普段の保育活動の中で、『子どもたちと一緒に楽しみながら日常的に取り組んでいく。』をモットーに活動してみました。

みんなでビリビリ破りながら作った新聞紙プール、夏の季節には、エアコン節約で氷遊びをしたり、自分たちで拾った松ぼっくりを使ってツリー製作をしたりしたことが特に楽しそうで笑顔も多く見られた印象でした。

身近な素材を使って自分自身でものを作ったことによって、子どもたちも興味・関心を持ち、楽しみながら取り組むことが出来ました。5年目も子どもたちとエコについて学びながらも、活動を通して楽しく取り組んでいけたらいいなと